

(別添2)

自己評価及び外部評価結果
作成日

令和6年2月15日

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 2795200019 | | |
| 法人名 | 社会医療法人明生会 | | |
| 事業所名 | グループホーム 片町苑 | | |
| サービス種類 | 地域密着型サービス | | |
| 所在地 | 〒534-0025 大阪府大阪市都島区片町二丁目9番25号 | | |
| 自己評価作成日 | 令和6年2月4日 | 評価結果市町村受理日 | 令和6年3月15日 |

【事業所基本情報】

| | |
|---------------------------|---|
| 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合 | http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp |
| 情報提供票を活用する場合 | (別添情報提供票のとおり) |

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-----------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人エイジコンサーン・ジャパン |
| 所在地 | 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟9階 |
| 訪問調査日 | 令和6年2月7日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

片町苑は母体が社会医療法人という盤石な医療体制であり、コロナウイルスに対しても定期的なPCR検査や抗原検査は勿論、ご利用者様や職員に一早くワクチン接種を行っております。また、当苑はグループホームでありながら透析患者を受入れ、医療や生活面など安心して生活して頂ける環境を整えております。そして、万一入院された場合などでも職員を病院に派遣し、食事介助など必要に応じた対応も行い、Drや看護師と密な連携を取り一日も早い退院に繋がるよう努めています。苑の日常では生活に「ヒマ」な時間を作らないよう一日を通して様々なプログラムを実施しております。朝のラジオ体操に始まり、午前中1回、午後2回のレクリエーションを毎日行っています。中でもレクリエーションは簡単な手遊びから、難易度の高いクイズ、脳と体を同時に動かすものなど様々な内容で行われています。現在コロナ等感染症の影響も残り、実施回数は少ないものの、以前は行事として毎月外出を中心とに企画されており、利用者の身体状況や認知症の状況に合わせてアクティブな内容や落ち着いた内容等数種類の企画を実施しています。現状では屋内で楽しんで頂けるよう、食を楽しむことを中心としたものや、壁面に大きな画像を配置しバーチャル空間として本当に屋外へ行った気分を味わって頂いております。その他、皆さんで手作業により大きな共同の作品を制作するなどの工夫を行っております。片町苑は単なる「介護施設」ではなく、そこに暮らす認知症高齢者の皆様にとっての“もうひとつの我が家”でありたいと願っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

医療法人明生会が運営する2ユニットのグループホーム。施設は、グループホーム以外にデイサービス、高齢者向け賃貸住宅、居宅介護支援事業所等を運営し、地域に密着した各種介護サービスを提供している。
立地環境は、京橋駅に非常に近いため、交通の便がよく、近隣にはお店も多い。また、大阪城公園も近くであり、利用者は、近隣での買い物や散歩等の外出を楽しむことができる。
引き続き感染症対策に留意しながら、事業所内行事を充実させながら、利用者の笑顔を沢山作る企画が実施されている。例えば、飲食業者に出張してもらい、お菓子づくりの疑似体験ができるイベントを実施し、外出時と同じく、利用者の楽しい思い出を呼び起こさせているだけでなく、施設に大切な家族を預けることとなった家族の心の負担を少しでも軽くするための心遣いを継続して行っている。
医療では、系列の医療機関が近くにあり、緊密な医療連携が取れており、重度化した場合の対応も含めて、利用者とその家族は大きな安心感を感じている。
地域との様々なイベントを通じた交流と地域貢献につながる活動が、徐々に再開され、地域との信頼関係の継続が途切れることがなく、利用者は、“もう1つの我が家”として、地域に支えられた生活を継続できている。